

ヘルスメーター

ボツリヌス療法 ～頻尿の新しい治療～

過活動膀胱^{ぼうこう}について

過活動膀胱は、尿意切迫感を必須とした症状症候群と定義され、頻尿・夜間頻尿・尿失禁などが主な症状です。過活動膀胱の症状がある人は、40歳以上のおよそ10人に1人と言われており、たくさんの方が症状に困っている病気です。

現在、過活動膀胱の治療は薬の内服による薬物療法が中心を担っていますが、それだけでは効果が不十分な方もたくさんいます。そのような方には、排泄に係る神経に持続的に電気刺激を与えることで症状を改善する仙骨神経刺激療法という選択肢もありますが、手術で刺激装置を体内に埋め込むという大掛かりなものとなってしまいます。

効果が出やすいボツリヌス療法も保険適用に

そんな中、2020年4月に過活動膀胱に対するボツリヌス毒素膀胱壁内注入療法が保険適用となりました。これは内視鏡を用いて、膀胱の壁に注射針を刺してボツリヌス毒素を注入する治療です。毒素の注入と聞くと身構えてしまう方もいるかもしれませんが、ボツリヌス注射自体は美容医療でしわ取りに用いられることでも有名であり、眼瞼^{がんけん}痙攣^{けいれん}・顔面^{けいれん}痙攣^{けいれん}・上肢や下肢痙攣^{けいれん}・原発性腋窩^{えきか}多汗症などの疾患でも保険適用となっている等、安全性も保障されています。

ボツリヌス毒素には筋肉の収縮を抑える効果があるため、膀胱壁に注入すると排尿筋の収縮が抑えられ頻尿や尿失禁が改善するという仕組みです。利点としては、体への負担が少ないので外来で日帰り治療ができること、効果が現れるのが早い(治療後2・3日から効果が現れる)こと等があげられます。欠点としては、効果の持続が4～8カ月程度であり効果がなくなったら再度治療が必要なこと、排尿困難や尿路感染などのリスクがあること等があります。

内服治療で効果不十分な方でも、しっかり効果が現れる治療です。頻尿でお困りの方、ボツリヌス療法に興味がある方はぜひ一度泌尿器科を受診ください。